



2021年10月5日

各 位

会社名 日本金銭機械株式会社
 代表者 代表取締役社長 上 東 洋 次 郎
 (コード番号：6418 東証第1部)
 問い合わせ先 常務取締役上席執行役員
 経営企画本部長 高 垣 豪
 電 話 (06) 6703-8400 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月11日に公表いたしました、2022年3月期の第2四半期(累計)連結業績予想につきまして、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

業績予想について

(1)2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想値の修正 (2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,600	△300	△400	△500	△16.86
今回修正予想 (B)	9,100	300	350	200	6.74
増減額 (B) - (A)	500	600	750	700	—
増減率 (%)	5.8	—	—	—	—
(参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	8,105	△1,502	△1,561	△1,551	△52.30

(2)業績予想修正の理由

2022年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、新型コロナワクチンの接種拡大により、米国ゲーミング市場はビフォーコロナの活気を取り戻しつつあることで顧客の設備投資意欲の回復傾向が顕著となっており、さらにコロナ禍に即したマーケティング活動を鋭意進めたこともあり、欧州のコマーシャル市場向けを中心に感染懸念による決済手段の非接触・非対面化の拡大、促進による需要の増大が顕著となるなど、売上高は期初の予想を6%程度上回る見通しであります。

また、利益面につきましても、売上高の増大に加え、販促費の効率的な支出、優先度の高い開発プロジェクトに集中投資したことに伴う開発費の抑制並びに人員体制の再構築及び効率化による固定費の削減などに取り組んだ結果、各段階利益ともに期初の予想を上回り、いずれも利益計上となる見通しであります。

なお、通期の連結業績予想につきましては、コロナ禍における世界的な部品調達の遅延や国際輸送運賃の高騰、並びに遊技場向機器事業において2022年1月に期限を迎える旧規則遊技機の撤去問題に懸かる設備投資動向などの不透明要因が複数存在することから、現時点においては、2021年5月11日に公表いたしました連結業績予想値を据え置くことといたします。

今後、業績への影響が明らかになった際には、内容を精査の上、適時開示が必要な場合は、速やかに公表してまいります。

以 上

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。